

指定管理者の管理運営に対する評価シート

| | |
|--------|--------------------|
| 所管課 | 教育庁 体育保健課 |
| 評価対象期間 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 |

1 指定概要

| | | | |
|-----------|------|---|---------------|
| 施設概要 | 名称 | 大分県立庄内屋内競技場 | 施設種別 |
| | | | レクリエーション・スポーツ |
| | 所在地 | 由布市庄内町大籠1314 | |
| | 設置目的 | 県民の体育及びスポーツの振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するため。 | |
| 指定管理者 | 名称 | 由布市 | |
| | 代表者名 | 由布市長 相馬 尊重 | |
| | 所在地 | 由布市庄内町柿原302番地 | |
| 指定管理業務の内容 | | ①スポーツ施設の維持管理及び修繕に関する業務 ②スポーツ施設の利用の受付及び案内に関する業務 ③スポーツ施設の利用の許可に関する業務 ④スポーツ施設の利用の促進に関する業務 ⑤その他教育委員会が特に必要と認める業務 | |
| 料金制度 | | 利用料金 | |
| 指定期間 | | 平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間) | |

2 評価結果

| 評価項目 | |
|---|--|
| 1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み | |
| (1) 施設の設置目的の達成 | 目標 |
| ① 計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。 | 事業計画書に定める管理運営の基本的な考え方を遵守した業務の遂行。 年間利用者数7,800名を達成する。 |
| ② 施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。また、複数の施設を一括して管理する場合は、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。 | ライフル射撃競技の競技力向上 |
| ③ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。 | ライフル射撃競技に興味をもってもらえるような広報活動の展開 |
| 【評価の理由】 | |
| ① 計画に沿った管理運営は適切に行われた。利用者数については国民スポーツ大会のリハーサル大会開催に伴う1ヶ月半の準備期間の占有期間があったため、R4年度の実績5,257人を下回り、R5年度の実績は4,305人であった。目標には届かなかったが、大規模大会の開催に向け標的の整備を行ったことで、令和6年度は大会の開催数が増加し、参加者の増加が見込まれる。 | |
| ② ライフル射撃競技の競技力向上のため施設の環境を整備したことや、SAGA2024の国スポの会場となっていることから佐賀県と大分県の高校生との合同合宿や国スポに向けた社会人の合宿などR5年度は5回合宿が行われた。R5年度の国スポリハーサル大会、R5年度の国スポリハーサル大会では大分県、佐賀県の選手が上位に多数入賞し、ライフル射撃競技の競技力向上に寄与している。 | |
| ③ 毎年、ビームライフルの体験会を行っている。R6年度のライフル射撃競技の国体会場となることから、R5年度は佐賀県と連携し、由布市の庄内神楽祭りでビームライフルの体験ブース、PRブースを設置し、約50名が参加。射撃体験で興味を持ち、R6年度に由布高校ライフル射撃部に入部した生徒がいるなど、ライフル射撃競技の認知度向上、普及に寄与している。 | |

| (2) 利用者の満足度 | 目標 |
|---|--|
| ①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 | 利用者の意見を集約し、意見の反映を行う。 |
| ②利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。 | 利用者からの要望について、サービス向上を図る |
| ③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 | 苦情が発生した際は、速やかに対応を行い利用者の理解を得る。また、再発防止策を講じる。 |
| ④利用者への情報提供が十分になされたか。 | こまめな情報発信を行う。 |
| ⑤その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。(①～④以外に評価できる取組みがある場合のみ) | 利用者が利用しやすい施設の運営 |
| 【評価の理由】 | |
| ライフル射撃の利用者が大半を占め、施設に関する要望などについて把握し、対応している。 | |
| ① 直接、電話や窓口で受けた意見については記録としてまとめている。トイレの改修や電子標的の充実についてアンケートで好評を得ている点について評価できる。引き続き、利用者の満足度の向上に努める。 | |
| ② 毎年開催している運営委員会で設備面での要望をうけ、R5年度はトイレの洋式化を行ったほか、不具合箇所の小修繕等、迅速に対応することができた。 | |
| ③ 令和5年度は施設の整備に関する要望を受けたが、利用面での苦情、利用者間のトラブルはなかった。 | |
| ④ 市報でのイベント周知や、国民スポーツ大会開催の横断幕の設置、佐賀県と連携してライフル射撃の体験イベントを開催するなど周知活動を行った。体験イベントに参加した児童、生徒が射撃体験をきっかけとして興味をもち、ライフル競技をはじめており、ライフル射撃競技の認知度向上、普及に寄与している。 | |
| ⑤ 夜間の対応を行っているのは、他県の類似施設の状況をみても庄内屋内競技場のみであり、社会人が利用しやすい時間の運用ができています。 | |

| | | |
|--|--|---|
| (3) 定性的な目標の達成 | | 目標 |
| ① 定性的に定めた目標が達成されているか。(将来ビジョン等で定めた目標など) | | ライフル射撃競技の認知度向上のために、普及啓発に取り組むとともに、国の代表チームや有力大学の合宿誘致等を推進する。 |
| 【評価の理由】 | | |
| ① ビームライフル体験会の開催を継続的に実施し、競技の普及啓発に努めている。合宿の実績については、R4年度に、8月12日～18日に東京五輪のヘッドコーチである磯部直樹氏が夏季合宿を開催し、東京五輪代表選手が参加した。R5年度には県内選手の国体に向けた合宿や、県内高校出身の大学生と県内高校のライフル射撃競技部合同での合宿を開催した。引き続き、合宿の誘致に向けて取り組んでいく。 | | |
| 2 効率性の向上等に関する取組み | | |
| (1) 経費の低減等 | | 目標 |
| ① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。 | | 施設の運営にかかる経費を効率的に低減する。 |
| ② 主たる管理業務以外(清掃、警備、設備の保守点検等)について、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。 | | 再委託している管理業務について、経費が最小限となるよう努める。 |
| ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。 | | 不要な固定費を削減し、利用者の増加に資する経費を増やす。 |
| 【評価の理由】 | | |
| ① 委託料の設定はなく、経営は最適化されている。 | | |
| ② 業者の選定を適正に行い、由布市の所管する運動公園と一帯となって契約を行っているものもあり、委託料を低廉にすることができている。 | | |
| ③ 委託料の設定はなく、経営は最適化されている。また、電子標的の拡充や、トイレ改修など利用者の満足度向上につながる整備をおこなっている。 | | |
| (2) 収入の増加 | | 目標 |
| ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。 | | 大規模大会の開催による収入の増加 |
| 【評価の理由】 | | |
| ① R6年度の国民スポーツ大会のライフル射撃競技の庄内屋内競技場での開催に伴う、リハーサル大会がR5年度に行われた。準備期間の占有期間があったため、利用者数は減少したが、収入については3,304(千円)と大幅に増加した。R6年度については収入の増加に加え、選手、観客の増加が見込まれている。 庄内屋内競技場での大規模大会の開催は、収入の増加の他、ライフル射撃競技の競技力向上、ライフル射撃教にふれるきっかけとして認知度向上にも寄与し、指定管理者が大会主催者と協議を重ね、大会を実行に向けて取り組んできたことは評価に値する。 | | |

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み

| (1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況 | 目標 |
|---|--------------------------------------|
| ①施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。 | 効率的な人員の配置 |
| ②職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか。 | 施設管理、緊急時に対応できるよう研修を充実させる。 |
| ③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 | 地域、関係団体と連携し、ライフル射撃競技の周知を行う。 |
| 【評価の理由】 | |
| ① 市所有の他の施設と一体となって管理しており、効率的な人員の配置ができています。 | |
| ② 施設管理の研修を受講し、緊急時には専門の職員が対応できる体制となっている。 | |
| ③ 毎年、チームライフル体験会を開催し、令和5年度は佐賀県、ライフル射撃協会とSAGA2024に向けた取組として、由布市の庄内神楽祭りでチームライフルの体験会を開催。 | |
| (2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など | 目標 |
| ①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。 | 法令違反を発生させない。 |
| ②施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。 | 個人情報漏洩等の事故を発生させてない。 |
| ③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。 | 特定の個人団体を排除しない。(国や県等からの要請に基づくものは除く) |
| ④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。 | モニタリングの結果、不適切な事案が確認されない。 |
| ⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 | 管理側の瑕疵による事故を発生させない。 |
| ⑥防犯や事故等の危機管理体制、防災士の配置など、防災に係る体制が適切であったか。 | 各種マニュアルを整備し、体制を確保する。 |
| ⑦防災に関する研修・訓練が効果的に実施されていたか。 | 防災訓練を年に1回行う。 |
| ⑧事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。 | 事故等発生時には適切な対応を行い、管理責任を問われる事象を発生させない。 |

【評価の理由】

- ① 法令違反は発生していない。
- ② 個人情報漏洩などの事故は発生していない。
- ③ 特定の個人団体を排除していない。
- ④ 施設の管理運営について不適切な点はない。
- ⑤ 不具合箇所については、速やかに対応し、事故も発生していない。
- ⑥ 施設管理マニュアル、事故等対応マニュアルに沿った管理体制がとられている。また、緊急時の組織体制は防災士がいる市防災安全課と連携することとしている。
- ⑦ 市で防災に関する研修・訓練を実施している。
- ⑧ 災害発生時には速やかに連絡をうけ、対応は適切であった。事故は発生していない。

【総合評価】

〔所見〕

継続してライフル射撃競技の体験会を開催し、ライフル射撃競技の認知度向上に向けた取組を行っていることは評価できる。
由布市の所管する運動公園と一体となって契約を行っているものもあり、委託料を低廉にすることができている点について評価できる。
スポーツ施設の維持管理及び修繕を行い、利用者の利便性、満足度の向上に寄与したことは評価できる。

〔今後の対応〕

庄内屋内競技場でライフル射撃競技をはじめた選手の中からパリオリンピックに出場した選手が誕生した。令和6年度から事務の委託による運用を開始し、ライフル射撃競技の競技力向上に引き続き、努めていきたい。

【指定管理者評価部会の意見】

【評価】

1. 指定管理から事務委託へと管理方法を変更したことで最適な運用形態になったと評価する。利用者満足度の向上に向けた配慮など、指定管理期間中に培ったノウハウが今後の管理に活かされることを期待している。
2. オリンピック選手を輩出しており、大分県の魅力を高める役割を担う施設と評価できる。全国的にも数が少ないライフル専用施設という特色を活かし、より一層活用されていくことを期待している。